

【令和2年8月28日 幹部予定者課程入校式 祝辞】

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第127期幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に入校される皆様、本日は、誠におめでとうございます。

皆様は、これまで部隊などにおいて、たくさんの訓練と、経験を積み重ね、その実績が認められ、晴れて幹部予定者課程に入校されたと伺っております。

そのような皆様をお迎えできますことは、江田島市としても、大きな喜びであり、心から、歓迎を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、力を背景とした一方的な現状変更の試みを、継続する中国や、着々と、ミサイル開発を進める北朝鮮など、周辺諸国の動きが、活発化し、一段と、厳しさを増しております。

また、国内では、一向に収束する、気配を見せない、新型コロナウイルスの感染拡大、7月に九州を襲った豪雨災害を始めとする、異常気象など、国難ともいべき事態が、続いております。

自衛隊の任務が多様化する中、皆様自衛官の方々が、我々国民のため、鍛え抜かれた体力と精神力で、労を厭わず献身的に振る舞う姿は、我が国の誇りであると、強く感じております。

どうか、皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐここ江田島で、幹部自衛官として、崇高な使命感を胸に、高い教養と技能、そして強い責任感と指導力をさらに身につけていただきたいと思っております。卒業後には、その実力を存分に発揮されることを、心から期待しております。

皆様、御承知のとおり、ここ江田島は、明治21年、今から132年前に、海軍兵学校が東京築地から移転し、戦後昭和31年に海上自衛隊をお迎えし、現在に至る64年間、海上自衛隊と江田島市は、共存共栄・一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との縁や絆を大切にしてきた地であります。

また、江田島市は、四季折々の、美しい自然に囲まれ、その美しい景観も、さることながら、穏やかな、海域を活かして、養殖された牡蠣や、島の傾斜を、利用して、太陽の恵みが、しっかりと注がれた、柑橘など、瀬戸内の味覚を、気軽に味わうことができます。

ぜひ、厳しい訓練の、合間には、こうした島の、魅力を、存分に楽しんでいただき、江田島の暮らしや、自然を満喫し、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を、送っていただきたいと思っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の、益々の御隆盛、御発展、そして、皆様の御健勝と、更なる御活躍を、心より、お祈り申し上げ、お祝いの言葉と、させていただきます。

令和2年8月28日

江田島市長 あき おか しゅう さく
明 岳 周 作